

その重機で、路をつらぬけ～新たな大動脈の開通に向けて、 六条院トンネル(仮称)[浅口市]が貫通～

2021.01.07



その重機で、^{ゆめ}路をつらぬけ

～新たな大動脈の開通に向けて、六条院トンネル(仮称)[浅口市]が貫通～

新年あけましておめでとうございます。計画課です。

誰もが描いていたものとは全く異なる一生忘れることができない2020年が終わり、心機一転2021年が始まりました。

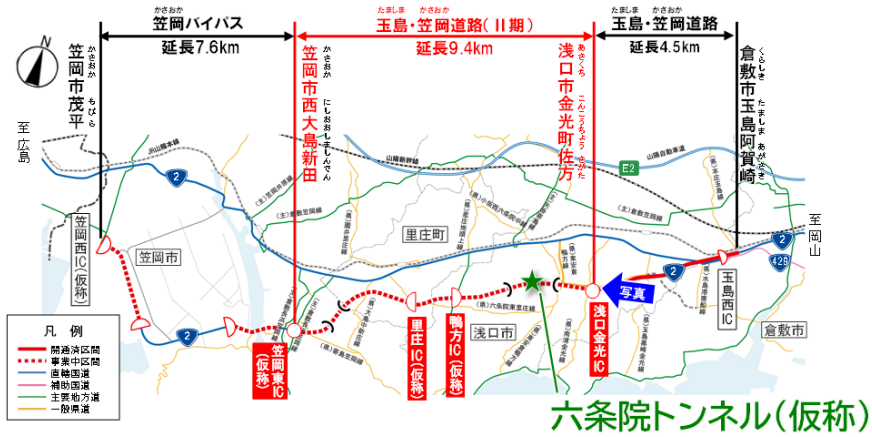
始まったからには、後ろを振り返るのではなく新しい目標を掲げて(丑年ではありますが)「猪突猛進」していく姿勢も重要かと思います。

さて今回は、その「猪突猛進」を地で行くような「THIS IS 土木」とも言えるトンネル工事において、クライマックスとなるトンネル貫通の瞬間の模様をお届けします。

1. 玉島・笠岡道路六条院トンネル工事

今回の工事現場は、浅口市の六条院トンネル（仮称）で、一般国道2号のバイパス区間として令和7年度の開通に向けて整備が進められている玉島・笠岡道路（II期区間：約9.4km）のうち、約1.1kmを占める大規模構造物です。

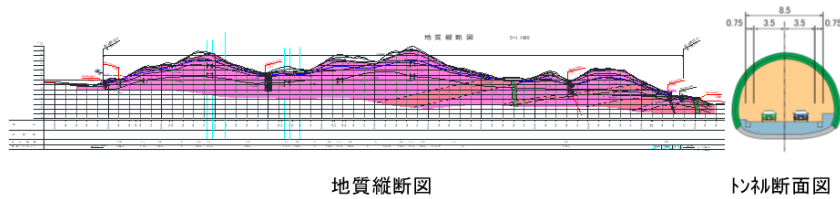
玉島・笠岡道路は、岡山県西部地域で発生している慢性的な交通混雑の緩和や交通事故の削減、周辺地域との連携を強化し、地域の発展に資することを目的としています。



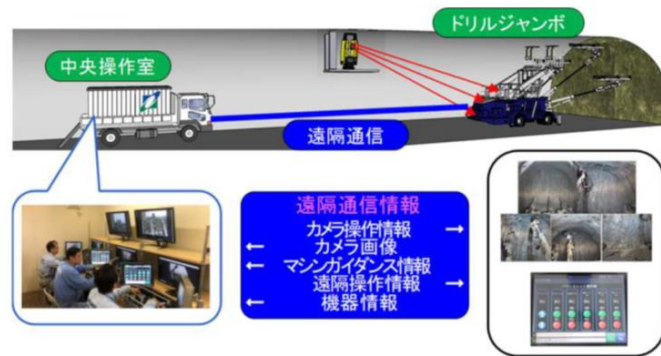
六条院トンネル（仮称）ですが、延長 1,088m、幅員 8.5m（2 車線相当）、内空断面積 61 m²で計画されており、2019 年 10 月より工事が進められてきました。

このトンネルは起点側から一方通行で掘り進める方式がとられました。

（よくテレビで報道されるような両側から掘り進める方式ではありません。）



六条院トンネル（仮称）の工事で特徴的なものとして、「ICT（情報通信技術）の導入」があります。トンネルの掘削面にあたる切羽で行う穿孔作業については、無人の重機だけが稼働し、作業員は 200m 後方に位置する制御室から遠隔操作により安全で効率的な工事を進めてきました。



■ 岡国そこそこ豆知識

「六条院」の名称は、かつてこの地が京都にあったとされる六条院（寺院）の荘園であったことに由来するそうです。当初の六条院村が、合併によって鴨方町かもがたちょう、そして現在の浅口市となり、地名として残っています。

「荘園」についてはここでは解説を割愛します。

▪2. 六条院トンネル（仮称）の貫通ドキュメント

ここからは、令和2年12月7日（月）の様子を実況風に振り返ります。

▪ (1) 坑口から貫通点（切羽）へ

起点側の坑口からは約1kmあるトンネル坑内を車で移動して、今回の貫通ポイントである終点側の切羽^{きりは}へ向かいます。



うむ、なるほど。坑口から出ているのが換気システムか。

奥からこの洞窟の主の匂いがするけえ。

(車で移動)

切羽^{きりは}付近に到着です。圧倒的にスピリチュアルな空間です。



うたたねしている間に到着していたとは！！
よもやもやだ！
「現場なう」担当として
不甲斐なし！！
穴があったら
入りたい！！
(すでに坑の中だけ)

あの黄色いやつが
この洞窟の主ずら。

工事関係者、行政関係者、地域の皆様が、世紀の瞬間に立ち会おうとしています。
当然、筆者のテンションも上がってきます。テンションが上がって首を振りまくって見えた
残像がこちらです。



換気がしっかりしていて
息苦しさは全く感じないぞ。

※180°で撮影したパノラマ写真であり、坑内は屈曲していません。

▪ (2) 貫通掘削

今回のメインイベントである貫通掘削です。

重機によってトンネル的ラストワンマイルである外側までの数メートルを掘り進みます。
(よくテレビで報道されるような爆薬を使った発破による貫通ではありません。)



坑内には重機の音だけが響きます。

・・・数分経過

てっきりすぐに貫通するのかと思いましたが、重機の勢いは止まりません。
実は先に貫通させておいて、儀式的に行うものでしょ？と思うあなた、そうではありません。
完全ノンフィクションです。

そして重機の勢いが加速します。



重機で掘削しはじめてから約6分、ついにクライマックスです。
貫通点からトンネル内に日光が差し込むと、大きな歓声があがりました。

この瞬間は、工事関係者の皆様にとってこみ上げるものがあると思います。
トンネル貫通と同じように、コロナ禍に見舞われる世の中に早く希望の光が差し込むこと
を願うばかりです。





【おまけ】

時を同じくして、貫通点の反対側。

実は、トンネル坑内の立ち会いを我慢して、一生に一度しかない貫通の瞬間をトンネルの外から撮影した勇者がいました。

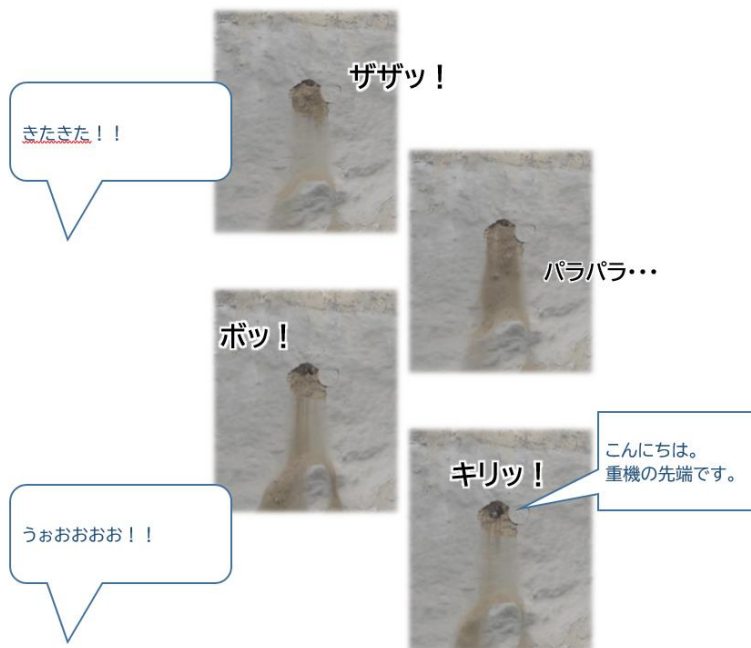
貫通前



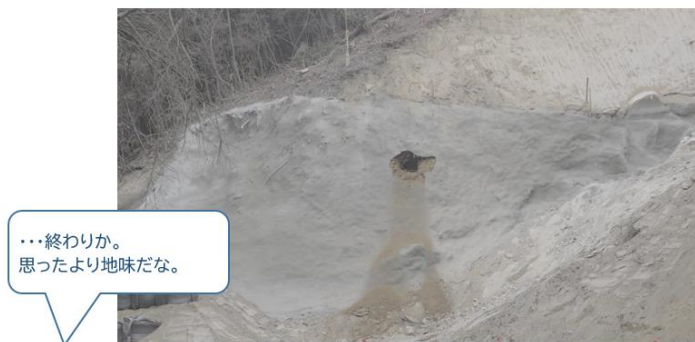
なるほど、
ここ辺りからド派手に
飛び出してくるのか。

どおりやアアアア!!!

地中より出でし
重機様のお通りじゃアアアア!!!



貫通後



ちょっとシュールかもしれませんが、これ以上でもこれ以下でもない貴重な写真です。

▪ (3) 貫通点清めの儀

関係者立ち会いのもと貫通が確認されたことで、これから貫通点清めの儀が行われます。



貫通点付近を「塩」、「米」、「酒」の順で清めていきます。



※残った塩、米、酒は、後でスタッフが美味しくいただきました。

▪ (4) 記念撮影

立ち会った関係者で貫通点をバックに記念撮影です。

撮影の瞬間だけマスクを外している方もいますが、一切会話はしていないので大丈夫です。



施工関係者

▪ ■ 岡国そこそこ豆知識

工事中のトンネル坑内での重機・車両の移動時は、安全確保のためにクラクション合図を統一しています。前進【入坑時】では2回、後進（掘削方向とは反対方向）【出坑時】では3回として、決められたポイントで合図を行います。

▪ (5) 貫通石の配布・お守り作り

貫通地点の岩石は、貫通石と呼ばれます。

起点側の坑口に戻ったところで、各自貫通石を選び、貫通石のお守り作りを行います。



丁寧な説明を聞きながら、各自この世に1つしかないお守りを作っていきます。

経験を詰めば、
3秒で作れます！！



※残った貫通石は、後でスタッフが美味しくいただきました。

■ 岡国そこそこ豆知識

貫通石は、苦勞して工事を成し遂げた土木工事関係者の勲章でありますが、安産のお守りとして重宝する習わしがあります。

その昔、神功皇后が戦において洞窟を掘り、敵の背後から攻め込んだことで勝利を収めました。その時、勝利の記念に貫通点の石を持ち帰りました。

その後、神功皇后が自らのお産に臨む際に、貫通点の石を枕元に置いたところ、大変楽に男児（後の応神天皇）を出産することができたことに由来すると言います。

近年では、「難関突破・初志貫徹」の意味から大願成就のお守りとして珍重されています。



■ 施工担当者からの熱烈メッセージ



施工担当：安藤ハザマ 森田氏

六条院トンネルは無事貫通することができました。

これも偏に皆様方のご指導、ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。

また、貫通まで無事故・無災害で施工を進めていただきました、協力会社の皆様にも感謝申し上げます。

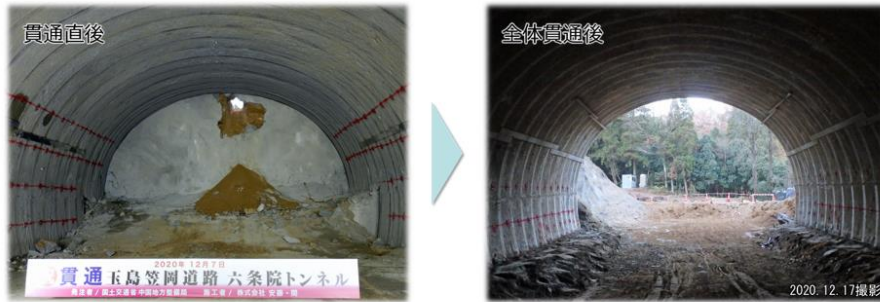
貫通はいたしました。これは通過点であり、まだまだ施工は続きます。残工期も関係者一丸となって無事故・無災害で工事を完了できるように、更に気を引き締めて施工にあたりますので引き続き宜しくお願いいたします。

■ 3. 終わりに

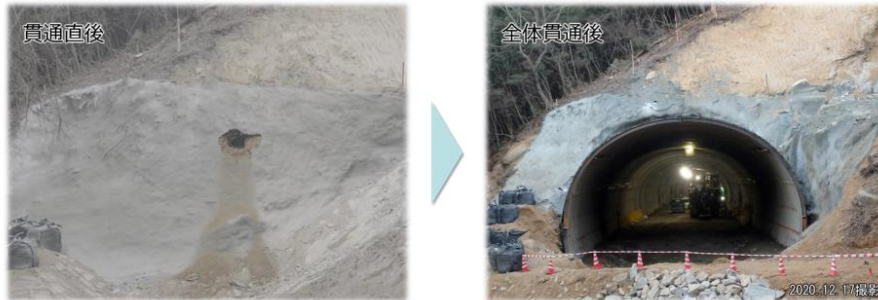
六条院トンネル（仮称）としての工事は令和3年3月の完了を予定しており、引き続き令和7年度予定の玉島・笠岡道路（Ⅱ期区間：約9.4km）の開通に向けて事業を推進してまいります。

皆様の「GOOD ROUTE」を実現するために、これからも岡山国道事務所は走り続けます！！

トンネル坑内から終点側を望む



終点側からトンネル坑内からを望む



以上
記事作成：計画課の影武者 U